

本会議の趣旨について

近年、住民のライフスタイル及びニーズの多様化や、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大等による社会環境の変化する中、市民の健康づくりや生きがいづくりの意識は高まりを見せており、スポーツの果たす役割・意義は一層重要になってきています。

本市では、令和5年4月に「第2期高岡市スポーツ推進プラン」を策定し、スポーツが持つ力を通じて心身ともに健康で元気な「人」を創り、その人々が支え合い、認め合うことにより、明るく元気な活力ある「まち」の創造に取り組んでいます。

令和4年度に行った「高岡市民の運動・スポーツに関する実態調査」では、週1回以上スポーツを行っている市民の割合が48.6%で、5年前と比べ17.8%増加しており、市民のスポーツ活動の広がりを見せています。

一方で、スポーツ活動を行う体育館施設の状況を見ると、昭和35年に建設され60年以上経過している東洋通信スポーツセンター（市民体育館）をはじめ、他の体育館施設も昭和56年から平成9年に建設され、令和10年から令和26年にかけて耐用年数を迎え、今後、維持管理費や改修費等の増大が避けられない状況となっています。

本市に限らず全国の自治体を取り巻く状況として、人口減少や生産年齢人口の減少に伴う歳入の減少が予想される中、既存施設の方向性に加え、平成29年度に凍結している新総合体育館の建設や学校再編に伴い廃止される学校体育館のあり方について整理していく必要があります。

また、近年若年層を中心に関心が高まっているアーバンスポーツや、障がいを持たれている方も気軽に活動できる場に配慮しつつ、市民が生涯に渡ってスポーツに親しむことができる場を提供し続けることができるよう検討していくことも必要となっています。

については、本市スポーツ施設における適切な施設のあり方について本会議において検討をお願いするものです。